

## スターフライヤーの2014年度決算概観

先般公表されたスターフライヤーの決算について、同社の輸送実績等（推定を含む）を加味しつつ概観した。

### 1. 収支概観（図表1参照）

#### 「ANA提携効果で黒字化！」

- ・ ANAとのコードシェア拡大（総座席数の3分の1以上）で、座席販売収入が大幅に増加して収益性が安定し、前年の大幅赤字から黒字（営業利益2億円）に転じた。為替差益もあって、経常利益は9億円を計上した。
- ・ 事業規模（便数）は8%拡大したが、営業費用は4%減少したことも収支改善に繋がった。
- ・ 来年度も増収増益を見込んでいる。

### 2. 収益性の指標（図表2参照）

- ・ 自社販売座席数は▲13%減少し、旅客数も減ったが、搭乗率は2ポイント向上して67.5%となった。
- ・ 便当り収入は4万円減少して157万円（うち座席販売収入は48万円）となったが、費用が20万円と大幅に減少して156万円となり、利益を計上できた。
- ・ 旅客単価（自社販売分）はほぼ前年なみの約17,000円であった。他方座席コストは、前年より9%低下して約11,400円となった。その結果、B/Eは73⇒67%（▲6ポイント）と大幅に改善した。

《図表1》 2014年度の損益計算書

		前年	当年	差	(率)	(見込み) 次年度
<b>営業収益</b>	億円	330	347	17	105	341
(ANA収入)		57	107	50		
(その他)		274	241	-33		
<b>営業費用</b>	億円	361	345	-16	96	
<b>営業利益</b>	億円	-30	2	33		4
営業外収支		4	7	3		
<b>経常利益</b>	億円	-27	9	36		12
<b>当期純利益</b>	億円	-30	4	35		8

《図表 2》 2014 年度の収益性指標（含推定）

		前年	当年	差	(率)
便数					108
座席数					87
旅客数					88
<b>便当り収入</b>	千円	<b>1,608</b>	<b>1,568</b>	<b>-40</b>	<b>98</b>
（うちANA）		276	481	206	
（その他）		1,332	1,087	-245	
<b>便当り費用</b>	千円	<b>1,756</b>	<b>1,557</b>	<b>-199</b>	<b>89</b>
<b>便当り利益</b>	千円	<b>-148</b>	<b>11</b>	<b>159</b>	
<b>（便当り実績）</b>					
座席数	席	118	95	-23	80
旅客数	人	77	64	-13	83
搭乗率	%	65.5	67.5	2.1	
<b>旅客単価</b>	円	<b>17,262</b>	<b>17,020</b>	<b>-242</b>	<b>99</b>
<b>座席コスト</b>	円	<b>12,558</b>	<b>11,376</b>	<b>-1,182</b>	<b>91</b>
<b>B/E</b>	%	<b>72.7</b>	<b>66.8</b>	<b>-5.9</b>	

以上